



ネジバナ

(ラン科)

花期 5～8月

花がらせん状にねじれてつくので
ネジバナ。モジズリとも云う。



ノアザミ

(キク科)

花期 5 ～ 8 月

ノアザミの蜜を吸うヒメキマダラ
セセリ(セセリチョウ科)。



ヒメユリ

(ユリ科)

絶滅危惧ⅠA類

花期 6～7月

花の径が5センチ位。その形から姫百合と呼ばれる。自生地でも環境の変化で大変少なくなっている。



ノハナシヨウブ

(アヤメ科)

花期 6 ～ 7 月

山野の草原や湿原に生える。名前は野生のハナシヨウブの意味である。



ミズチドリ

絶滅危惧Ⅱ類

花期 6～7月

(ラン科)

山地などの湿原に生え、花の形が千鳥に似ているから水千鳥と呼ぶ。



ツクシマツモト

(ナデシコ科)

絶滅危惧ⅠB類

花期 6～7月

阿蘇の野の花の一つ。道端で沢山見
かけることができた頃を思い出す。



ハナシノブ

(ハナシノブ科)

絶滅危惧ⅠA類

花期 6～8月

阿蘇の代表的な野の花の一つ。外国からの園芸種との交雑が心配されている。



ホタルブクロ

(キキョウ科)

花期 6 ～ 7 月

この花の中にホタルを入れて遊んだのでこの名前がついたと云われています。



ホタルブクロ 2

(キキョウ科)

花期 6 ～ 7 月

ホタルブクロの中に、実際にホタルを入れて撮った写真で合成してみました。



コオニユリ

(ユリ科)

花期 7 ～ 8 月

オニユリに比べて全体が小型。葉の付け根に「むかご」がつかない。

※コが付く方にはコ(子)「むかご」がつかない。



タヌキマメ

(マメ科)

花期 7 ～ 9 月

湿り気のある原野に生える。毛でお
おわれた果実の形から狸豆の名が
ついたそうだが、よく見ると面白い
形である。



オグラセンノウ

(ナゲシコ科)

絶滅危惧ⅠA類

花期 7～8月

山地の湿原に生える。限られた地域に生息するので、絶滅が心配される。



エゾミミソハギ

(ミミソハギ科)

花期 7～8月

水辺や湿原に生える。ベニシジミが吸蜜に来ている。



オカトラノオ

(サクラソウ科)

花期 6～7月

花穂を虎の尾に見立ててついた名前。
山の草原に咲く。



サギソウ

(ラン科)

絶滅危惧Ⅱ類

花期 7～8月

日当たりのよい湿原に生える。花の形が白鷺の飛ぶ姿に似ているからついた名前。



カキラン

準絶滅危惧

(ラン科)

花期 6～8月

花が柿色なのでこの名前がついた。



ウバユリ(赤)

(ユリ科)

花期 7～8月

普通は林の中に白い花を咲かせる。赤い花のウバユリがあると聞いたので撮りに行った。三十数年前の事である。

現在はここにも無くなっている。



撮影・編集

藤崎

清高

※写真の無断コピー、転載はお断りします。